



平成 28 年度 第 1 回

東海村村長定例記者会見資料

日 付 平成 28 年 6 月 2 日 (木)

時 間 午前 10 時 30 分～ 11 時 30 分

場 所 東海村役場 庁議室

No.	案 件 名	担当課	ページ
1	東海村公式アプリのリリースについて	広報広聴課	1
2	東海村内求人情報の提供開始について	まちづくり推進課	2
3	東海村広域避難計画に関する住民意見交換会の結果について	防災原子力安全課	3
4	平成 28 年度東海村甲状腺超音波検診事業について	健康増進課	4
5	「東海村ニューファーマー育成実践塾」を開催します	農業政策課	5
イ ベ ント			
6	梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念講演会 「ニュートリノでつなぐ宇宙と素粒子」の開催について	まちづくり推進課	6～8
7	「とうかい環境フェスタ 2016 with キャンドルナイト」 の開催について	環境政策課	9
8	「第 38 回東海まつり」の開催について	まちづくり推進課	10～11
議 案 等			
9	平成 28 年第 2 回東海村議会定例会提出議案概要	総務課	12～17

《 目 次 》

(ページ)

No. 1

東海村公式アプリのリリースについて 1

No. 2

東海村内求人情報の提供開始について 2

No. 3

東海村広域避難計画に関する住民意見交換会の結果について 3

No. 4

平成 2 8 年度東海村甲状腺超音波検診事業について 4

No. 5

「東海村ニューファーマー育成実践塾」を開催します 5

No. 6

梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念講演会
「ニュートリノでつなぐ宇宙と素粒子」の開催について 6～8

No. 7

「とうかい環境フェスタ 2 0 1 6 with キャンドルナイト」の開催について . . 9

No. 8

「第 3 8 回東海まつり」の開催について 10～11

No. 9

平成 2 8 年第 2 回東海村議会定例会提出議案概要 12～17



東海村公式アプリのリリースについて

東海村では、近年のスマートフォン利用者の増加等の状況を踏まえ、村の情報発信力の強化及び住民サービスの向上を目的に、スマートフォン・タブレット用アプリケーション（以下「アプリ」）を活用した情報提供を開始します。

当アプリは、村からのお知らせ等をプッシュ通知にて受信できるほか、アプリ利用者の居住地区ごとのごみ収集情報等も確認できるなど、身近な生活情報を取得できるのが特徴となっています。

1 リリース予定日

平成 28 年 7 月 1 日（金）

2 主な機能

- タイムリーな情報のプッシュ通知によるお知らせ
- ごみ情報の表示（収集日の前日／当日の案内通知やカレンダー表示、分別方法の検索など）

3 配信情報

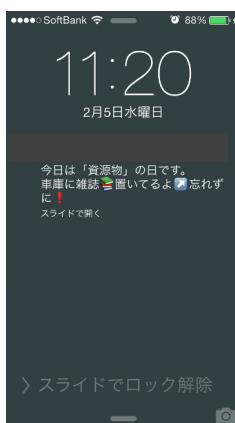
- 行政情報全般（各種助成金等の申込、募集、窓口延長の案内など）
- 式典・イベント・会議・ワークショップ等の開催案内
- その他、交通、防災や防犯、行方不明者情報 など

4 画面イメージ

＜＜お知らせ＞＞



＜＜ごみ収集日通知＞＞



＜＜ごみカレンダー＞＞





村内求人情報の提供開始について

本年 3 月 25 日、地域の優良な中小企業の担い手となる人材の確保を加速させ、持続可能な社会の実現につなげることを目的として、東海村と茨城労働局は、雇用対策協定を締結しました。

これを踏まえ、東海村として地域の雇用促進を図るため、今般、ハローワーク水戸から提供される情報を基に、東海村内の求人情報を村公式ホームページで提供することとしましたので、お知らせいたします。

今後は、村公式フェイスブックへの公開も予定しています。

なお、求人情報の提供の頻度（村公式ホームページへの公開）は、約 2 週間に 1 度となる見込みです。

1 情報提供の開始時期

平成 28 年 5 月 16 日（月）

2 提供する情報

- 村内の求人に係る業種、年齢、賃金、求人者名（募集企業）、求人者所在地・就業場所、就業時間、加入保険及び必要な免許資格の情報。
- 情報は、パートタイム勤務とフルタイム勤務を分割して掲載。
- このほか、月に 1 度、産業別求人数を掲載。

3 その他

- ハローワークでは、求人情報の更新を随時行っていることから、村公式ホームページ公開時において求人の情報が変更され、又は削除されている場合があります。
- 求人に関するお問い合わせは、ハローワークへ直接行う必要があります。





東海村広域避難計画に関する住民意見交換会の結果について

東海村では、原子力発電所における事故・災害により、すべての村民と滞在者が村外に避難しなければならない場合に、どのように避難をするかを定める「東海村広域避難計画」の策定作業を進めています。

この策定に当たり、本計画への理解を図り村民から広く意見を集めるため、下記のとおり住民意見交換会を実施したところ、188名の村民が参加して意見や疑問が出され、本計画策定のための多くの示唆を得ることができました。

今後は、さまざまな事業者・団体関係者等へ丁寧な説明をさらに重ねるとともに、関係機関との協議を着実に進め、原子力災害時におけるひとつの基本形として示す広域避難計画をより実効性の高いものにしていきます。

記

1 日時・場所・参加者数

日 時	場 所	参加者数(人)
5 月 17 日 (火) 午後 2 時～4 時	石神コミュニティセンター	30
5 月 17 日 (火) 午後 6 時～8 時	真崎コミュニティセンター	29
5 月 19 日 (木) 午後 10 時～正午	村松コミュニティセンター	23
5 月 19 日 (木) 午後 2 時～4 時	白方コミュニティセンター	36
5 月 19 日 (木) 午後 6 時～8 時	舟石川コミュニティセンター	34
5 月 22 日 (日) 午後 1 時～3 時	中丸コミュニティセンター	36

- 2 開催内容 避難先自治体や避難所、広域避難の流れ、避難行動、移動方法、要配慮者の支援体制、安定ヨウ素剤の服用等に関して村から説明した後、約 90 分間に渡って意見や質疑を受けた。
- 3 主な意見 移動手段の確保、緊急事態に係る村民への周知方法、避難経路、要配慮者への対応、避難所の運営方法等 150 項目以上
- 4 配布資料 東海村広域避難計画（案）、同ガイドブック（案）、同避難所マップ（案）（取手市版、守谷市・つくばみらい市版）、「東海村広域避難計画」策定に関する FAQ（よくある質問）

5 今後の予定

（1）住民意見交換会における意見等の集約

住民意見交換会での意見や質問、当日の回答を要約・集約し、村 HP 等により公開します。

（2）パブリックコメントの実施

村 HP のほか、役場、コミセン等 10 箇所の公共施設で意見や質問を受け付け（6 月 16 日まで）、回答を添えて、村 HP 等により公開します。



平成 28 年度東海村甲状腺超音波検診事業について

1 目的

福島第一原発事故後の放射性物質の放出による健康影響を懸念する声に応えるため、下記の対象者に対し甲状腺超音波検診を実施し、健康不安の軽減に努めることを目的とします。なお、本事業は平成 24 年度に続き 2 回目の実施です。

2 対象者

平成 9 年 4 月 2 日生から平成 23 年 4 月 1 日生の方を、下記の 2 グループに大別し、日程を分けて検診を実施します。

- 平成 16 年 4 月 2 日生から平成 23 年 4 月 1 日生（概ね 6 歳から 12 歳）
- 平成 9 年 4 月 2 日生から平成 16 年 4 月 1 日生（概ね 13 歳から 19 歳）

3 実施方法等

- 対象者（約 6,000 人）に対し、村から検診実施の個別通知を行います。
- 判定については「甲状腺超音波診断ガイドブック」に準拠し、福島県民健康調査「甲状腺検診」の判定基準に基づき実施します。
- 検診結果については、個人が特定されない範囲において、事業終了後に一括で公表予定です。
- 検診費用は全額公費負担とします。

〈検診方法〉

- 県内の検診機関（村からの委託）による集団検診方式で実施することとし、検診項目は「問診」及び「超音波検診」とする。一次判定の結果、何らかの所見を有する方については、後日、専門医による二次判定を行い、総合判定とする。
- 総合判定の結果、精密検査が必要と判定された方については、個別に保健師が訪問し、改めて専門医への受診勧奨を行う。

4 検診期間

平成 28 年 7 月から 12 月まで（計 6 ヶ月間）

※漏れ者検診を含め、平成 29 年 3 月末までに終了予定

5 その他

実施に当たっては、「甲状腺超音波検診事業検討委員会」を設置し、当該委員会において様々な対応協議を行い、事業の適切な運営及び検診結果の管理に努めます。



「東海村ニューファーマー育成実践塾」を開講します！

東海村は、多様な担い手が支える農業に向けた施策の一環として、「東海村ニューファーマー育成実践塾」を 6 月から開講いたします。

定年退職者、高齢者、主婦等、東海村において就農を希望する方を対象に、鯉淵学園農業栄養専門学校と連携し、6 月から 12 月までの期間、月に 1 度の頻度で栽培の技術講習と農業経営講習を合計 7 回行い、その他の日は、農業支援センターの農業専門員が栽培指導を補完します。現在の受講希望者は 12 名。

1 年目は栽培の基礎を学び、2 年目は商業的栽培の実践、3 年目は直売所で試験的に販売するなどステップアップしていくものです。4 年目には、塾生が利用権設定などの農地確保の手続きを経て、ファーマーズマーケット「にじのなか」への農産物出荷者として独立することを目指します。

つきましては、第 1 回目の講義日に、下記の日程で開校式を行います。

記

1 日 時 平成 28 年 6 月 23 日 (木) 午前 9 時 30 分～9 時 55 分まで

2 場 所 ファーマーズマーケット「にじのなか」交流広場

3 出席者 東海村長 山田 修
鯉淵学園農業栄養専門学校代表者 (現在調整中)
鯉淵学園農業栄養専門学校担当講師
入塾希望者 12 名 (予定)
事務局 (東海村農業支援センター)

4 内 容

- (1) 村長挨拶
- (2) 鯉淵学園農業栄養専門学校代表者挨拶
- (3) 入塾生代表挨拶
- (4) その他

5 講義日程 (合計 7 回)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① 6 月 23 日 (木) 野菜の種類 | ⑤ 10 月 6 日 (木) 収穫・調整 |
| ② 7 月 14 日 (木) 野菜栽培 1 | ⑥ 11 月 10 日 (木) 収穫物貯蔵法 |
| ③ 8 月 14 日 (木) 野菜栽培 2 | ⑦ 12 月 8 日 (木) 後片付けと準備 |
| ④ 9 月 8 日 (木) 畑の管理 | |



梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念講演会

ニュートリノでつなぐ宇宙と素粒子

2015 年 ノーベル物理学賞の受賞理由となった「**ニュートリノ振動**」

この極小の素粒子の謎を解明することが、極大な宇宙の謎の解明につながると
いいます

実験科学者としてニュートリノの謎に挑む **梶田 隆章さん**

理論科学者として宇宙の謎に挑む **村山 斉さん**

お二人を中心に J-PARC の研究者も交えて開催する講演会です！

- 日 時 平成 28 年 7 月 16 日 (土)
13 : 30 ~ 17 : 00 (12 : 30 開場)
- 会 場 東海文化センター
- 入場料 無料
- 定 員 800 名 (申込み多数の場合は抽選)
※ 詳しくは別添のチラシをご覧ください

ここがポイント！！

多くの科学者が集い、語り合う今回のイベントは

『**原子力サイエンスのまち 東海村**』だからこそ実現可能なものです。

村としては、本講演会に先立ち、J-PARC センターとともに、「ニュートリノってナニ？」「どうやって発見したの？」など講演会のキーワードにつながるテーマで、小中学生向け事前勉強会を実施しました。また、当日は村内小中学生と研究者との交流セッションも予定しております。

一人でも多くの子どもたちが、最先端のサイエンスに興味を抱き、**かがやく未来への大きな一歩**となることを期待しています。

主催：J-PARC センター／東海村



梶田隆章先生ノーベル物理学賞受賞記念講演会

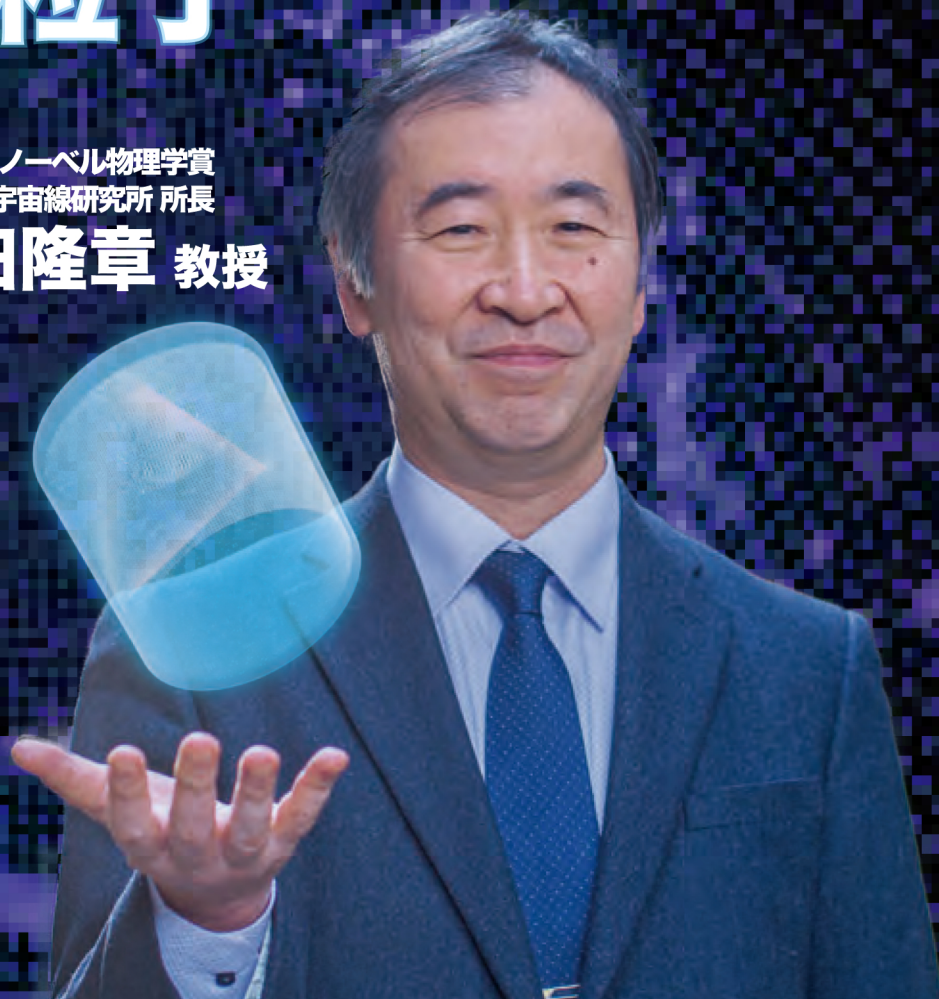
ニュートリノでつなぐ 宇宙と素粒子

2015 年ノーベル物理学賞
東京大学宇宙線研究所 所長

梶田隆章 教授

東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長

村山斉 教授



2016 年

7/16 土

開演 **13:30** / 開場 **12:30**

東海文化センター

(定員: 800 名)

主催: J-PARC センター

東海村

協力: T2K 実験国際共同研究グループ

「ニュートリノフロンティアの融合と進化」研究班

後援: 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

東海村教育委員会

茨城県

講演会 URL: <http://j-parc.jp/symposium/kouenkai2016/>

**入場
無料**

2015 年、ノーベル物理学賞の受賞理由となった「ニュートリノ振動」。この極小の素粒子の謎を解明することが、極大な宇宙の謎の解明に繋がるという。実験科学者としてニュートリノの謎に挑む梶田隆章氏と、理論科学者として宇宙の謎に挑む村山斉氏。この二人を中心に、T2K 実験でニュートリノの謎に挑む J-PARC の研究者を交えておくる講演会です！

※T2K 実験: 東海村の J-PARC で作られた世界最大強度のニュートリノビームを 295 km 離れたスーパーカミオカンデに打ち込み、ニュートリノ振動に関する精密な研究を行っています。

お申込方法 募集期間: 5/16(月)~6/15(水)

事前申込による抽選といたします。

下記のいずれかの方法で、「住所・氏名・年齢・職業（または学年）・電話番号」をご記入の上、お申込ください。

なお、お申込は一通につきお一人分のみでお願いします。

- ・電子メール: kouenkai@j-parc.jp
- ・往復はがき: 〒319-1195
茨城県那珂郡東海村大字白方 2-4
J-PARC センター 広報セクション 宛

※電話・FAX による申込受付は行っておりません。

※電子メールでお申込の場合は、受付確認のメールを返信いたします。

※お申込の際にご記入いただいた個人情報、本講演会関係事務にのみ使用し、それ以外の目的での使用はいたしません。

【お問い合わせ先】 J-PARC センター 広報セクション TEL: 029-284-4578 (平日・午前 9 時 - 午後 5 時) 電子メール: web-staff@j-parc.jp

ニュートリノでつなぐ宇宙と素粒子

2016.7.16. SAT | 13:30 開演 (12:30 開場) | 東海文化センター
定員 800 名 (事前申込・抽選制)

講演

講演 1

「父なるニュートリノ」

東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構
機構長 村山 斉 教授

ニュートリノには重さがあることが梶田先生たちによって証明されました。ニュートリノに重さがあると、粒子と反粒子が入れ替わる可能性があります。ビッグバンで始まったとされる宇宙では、粒子と反粒子が同じ数あったはずですが、粒子の入れ替わりでバランスが崩れたため、私たちの宇宙を構成する物質が生き残ったのだと考えられています。



村山 斉 (むらやま ひとし)

東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) 機構長、特任教授。
米国カリフォルニア大学バークレー校 教授

1991 年に東京大学大学院 理学系研究科 物理学専攻 博士課程修了、理学博士。東北大学大学院 理学研究科 物理学科・助手、ローレンス・バークレー国立研究所・研究員、米国カリフォルニア大学バークレー校物理学科・助教授、准教授を経て、同大学物理学科・MacAdams 冠教授となる。2007 年 10 月より現職。専門は素粒子物理学。
2002 年西宮湯川記念賞受賞。

講演 2

「ニュートリノ振動の発見と今後の展開」

東京大学 宇宙線研究所
所長 梶田 隆章 教授

1998 年、スーパーカミオカンデによる大気ニュートリノの観測で、ニュートリノの種類が飛行中に変化するニュートリノ振動を発見しました。これは、ニュートリノに重さがあることを示す証拠であり、重さがないとする従来の定説をくつがえしました。現在進めている東海村の J-PARC から神岡町へ向けてニュートリノを飛ばす T2K 実験や、将来のハイパーカミオカンデ実験では、私たちの体を含めた宇宙を構成する物質の起源に迫ることを目指しています。



梶田 隆章 (かじた たかあき)

東京大学 特別栄誉教授、宇宙線研究所長。

1986 年に東京大学 大学院 理学系研究科 物理学専門課程 博士課程修了、理学博士。東京大学理学部附属素粒子物理国際センター・助手、同大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設・助教授を経て、同大学宇宙線研究所教授となる。2008 年 4 月より現職。専門は宇宙線物理学。
1999 年仁科記念賞、2010 年戸塚洋二賞、2012 年日本学士院賞、2015 年ノーベル物理学賞受賞。

交流セッション

【第一部】東海村内の小中学生との交流

【第二部】会場内との質疑応答

登壇者

梶田 隆章 教授
村山 斉 教授
中家 剛 教授 (京都大学)
齊藤 直人 教授 (J-PARC センター)
小林 隆 教授 (J-PARC センター)



モデレーター (進行役)

横山 広美 (よこやま ひろみ)

東京大学大学院 理学系研究科 准教授、東京大学広報戦略企画室副室長。
専門は現代科学論、学術広報。
中学 2 年生のときに物理学の面白さに感銘を受け、その後、科学者ではなく科学を伝える仕事を志す。大学院まで素粒子実験を専門に学び、学生時代から科学記事を執筆、その後、科学を伝え、科学と社会の関係を考える科学コミュニケーション分野を専門にし、研究と活動を行っている。

質問募集

本講演会の交流セッションでは、皆さまからのご質問に登壇者がお答えします。素粒子やニュートリノについてよく分からないことや、素粒子物理に関して聞いてみたいことがあれば、応募時に電子メールもしくははがきに記載してください。また、当日は会場にも質問箱をご用意します。皆さまのご質問、お待ちしております。

※なお、質問への回答は講演会でのみとさせていただきます。抽選の結果や当日の時間の制約から、すべての質問にお答えできない場合もございます。あらかじめご了承ください。

会場のご案内 東海文化センター

茨城県那珂郡東海村船場 768 番地 1
Tel : 029-282-8511
・ JR 常磐線東海駅下車、徒歩 15 分
・ 常磐自動車道東海スマート IC から車で 10 分
・ タクシー：東海駅東口から 5 分
・ 詳しくはこちら→<http://www.tokai-cs.or.jp/c/map.html>

プログラム

13:30~13:40 開会挨拶
13:40~14:35 講演 1 村山 斉 教授
14:35~15:30 講演 2 梶田 隆章 教授
15:30~15:50 休憩
15:50~16:20 交流セッション (第一部)
16:20~16:55 交流セッション (第二部)
16:55~17:00 閉会挨拶



「とうかい環境フェスタ 2016 with キャンドルナイト」の開催について

とうかい環境村民会議では、「伝えよう 子どもたちに 水と緑 ゆたかな ふるさとを」をテーマとして、「とうかい環境フェスタ 2016 with キャンドルナイト」を開催します。

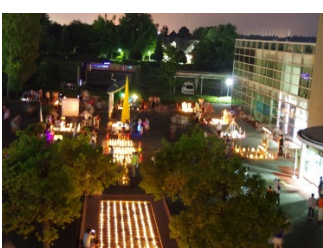
平成 26 年度から、村内の事業者・団体の環境活動の発表や啓発を目的に開催している「とうかい環境フェスタ」と、自然の光を灯しながら環境について考える機会を提供する「キャンドルナイト」を同時に開催しており、今年で 3 回目になります。

毎年、家庭から出た廃食用油などを材料としたエコキャンドル作りや、太陽光や小水力を利用した発電の仕組みについての展示を行うなど、資源循環や再生可能エネルギーの活用を通し、持続可能な社会を目指した取組みを紹介しています。子どもから大人まで、「見て」「聞いて」「体験できる」イベントとなっておりますので、皆様ぜひお越しください。

- 1 日時 平成 28 年 7 月 23 日 (土) 午後 3 時～午後 8 時 30 分頃
環境フェスタ：午後 3 時～午後 6 時
キャンドルナイト：午後 6 時～午後 8 時 30 分
- 2 会場 東海村文化センター駐車場 (今年度は会場が変更になっています)
- 3 主催 とうかい環境村民会議 (運営：とうかい環境フォーラム実行委員会)
- 4 内容 企業や団体による環境活動のブース展示／ステージショー
じゃんけん大会／教材再生プロジェクト／エコキャンドル作り
キャンドルナイト／キャンドルアート展示 等
(内容は今後変更する場合があります)

※同イベントは村内小学生を対象とする「エンジョイ・サマースクール」の一環としても開催しています。

平成 27 年度「とうかい環境フェスタ 2015 with キャンドルナイト」の様子





第38回 東海まつりの開催について

東海村の三大まつりの一つである「第 38 回東海まつり」が盛大に開催されます。皆様お誘い合わせの上、是非、御来場ください。

1 概要

【イベント】

- ・日時 平成 28 年 8 月 7 日（日） 午後 2 時～8 時
荒天の場合のみ中止
- ・会場 J R 東海駅東大通り
- ・内容 東海音頭・山車・大人みこし・子どもみこしなどのパレード、
出店等
※内容は変更になることがあります。

【花火大会】

- ・日時 平成 28 年 8 月 11 日（木・祝） 午後 7 時～8 時 30 分
荒天の場合は延期（延期時の開催日は未定）
- ・会場 阿漕ヶ浦公園
- ・内容 花火打ち上げ
打上数 2, 000 発（予定）

- 2 観客数 花火大会とイベントをあわせ 35, 000 人（平成 27 年）

3 その他

詳細については、東海まつり実行委員会（TEL 029-283-2141）にお尋ねください。